

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2007-93674(P2007-93674A)

【公開日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-014

【出願番号】特願2005-279253(P2005-279253)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1339 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/1339 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月2日(2008.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の基板上に形成された枠状のシール材によって区画された電気光学物質充填領域に電気光学物質を滴下する滴下封入方式によって、前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に液晶が介在されて構成される電気光学装置であって、

前記第 1 及び第 2 の基板の少なくとも一方の前記シール材と重なる位置に設けられる識別手段を具備したことを特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

前記識別手段は、所定形状の識別表示であることを特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置。

【請求項 3】

前記識別表示は、前記第 1 及び第 2 の基板の 4 隅部の 1 箇所に設けられることを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 4】

前記識別表示は、左右非対称又は上下非対称の形状を有することを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 5】

前記識別表示は、左右及び上下非対称の形状を有することを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 6】

前記識別表示は、前記第 1 又は第 2 の基板に形成される遮光膜と同一材料によって形成されることを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 7】

第 1 の基板上に形成された枠状のシール材によって区画された電気光学物質充填領域に電気光学物質を滴下する滴下封入方式によって、前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に液晶が介在されて構成される電気光学装置であって、

前記第 1 及び第 2 の基板の少なくとも一方の基板に設けられる識別手段を具備し、

前記識別手段は、前記第 1 及び第 2 の基板の少なくとも一方の基板の外形を変形させることで得られる所定形状の識別部であることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 8】

第 1 の基板上に識別表示を形成する工程と、

前記第 1 の基板又は第 2 の基板に電気光学物質充填領域を区画する枠状のシール材を形成する工程と、

前記電気光学物質充填領域に電気光学物質を滴下する工程と、

前記第 1 の基板と第 2 の基板とを前記電気光学物質を介在させて貼り合わせる工程とを具備し、

前記識別表示は、前記シール材と重なるように形成されることを特徴とする電気光学装置の製造方法。

【請求項 9】

前記請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載の電気光学装置を具備したことを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明に係る電気光学装置は、第 1 の基板上に形成された枠状のシール材によって区画された電気光学物質充填領域に電気光学物質を滴下する滴下封入方式によって、前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に液晶が介在されて構成される電気光学装置であって、前記第 1 及び第 2 の基板の少なくとも一方の前記シール材と重なる位置に設けられる識別手段を具備したことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、第 1 の基板上に形成された枠状のシール材によって区画された電気光学物質充填領域に電気光学物質を滴下する滴下封入方式によって、前記第 1 の基板と第 2 の基板との間に液晶が介在されて構成される電気光学装置であって、前記第 1 及び第 2 の基板の少なくとも一方の基板に設けられる識別手段を具備し、前記識別手段は、前記第 1 及び第 2 の基板の少なくとも一方の基板の外形を変形させることで得られる所定形状の識別部であることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

本発明に係る電気光学装置の製造方法は、第 1 の基板上に識別表示を形成する工程と、前記第 1 の基板又は第 2 の基板に電気光学物質充填領域を区画する枠状のシール材を形成する工程と、前記電気光学物質充填領域に電気光学物質を滴下する工程と、前記第 1 の基板と第 2 の基板とを前記電気光学物質を介在させて貼り合わせる工程とを具備し、前記識別表示は、前記シール材と重なるように形成されることを特徴とする。

